



**御鎮座二百年式年大祭 奉幣祭
併東日本大震災復興祈願祭**

平成二十三年四月十日(日)午前十一時より、御鎮座二百年式年大祭奉幣祭を斎行、旧釜山藩京極家ご当主京極高幸様同ご令室様並にご令息高大概がお揃いでご参列になり、京都府神社庁長、平安神宮九條宮司、ご夫妻をはじめ二百名にのぼる関係者にご参列いただきました。

祭儀は峰山町内奉務の神職にも助勢いただいたて執行し、宮司の祝詞で東日本大震災の復興も併せて奏上、参列者とともにご神前に被災地の復興を祈願。また、斎女(いつきめ)が金幣を奉り奉賛会員への頒布始めに仕え、平安神宮神職らによる神楽・舞楽の奉奏と続き、祭儀終了後には宮司、吉村孝道奉賛会長の辞に続き、京極高幸様、神社庁長様からご祝辞をいただきました。

記念の大祭を滞りなく厳修、神社の歴史に貴重な足跡を残すことができました。

平成二十三年
御鎮座二百年大祭
記念例祭行事

十月二日、屋台展示(境内)
八日 宵々宮祭 奉祝行事
九日 宵宮祭 奉納披露
十日 例祭 神輿渡御祭
午前 神輿・山車 総巡行
午後 同総披露 市役所前広場
神輿行列
吹貫・稚児行列・斎女・神輿奉輿巡行

丹後こども論語塾

論語に楽しく親しんでいたたく教室です。親子でのご参加お待ちしております。

日時 8月7日(日)
午前9時30分～午前11時30分
講師 青木順子(あおきよりこ)先生
参加料 子ども三〇〇円 大人五〇〇円

七月九日 宵宮祭
十日 夏季大祭
七月九日午後八時
二百年祭奉祝花火大会
(雨天順延)

本年の峰山花火大会は金刀比羅神社二百年祭奉賛会で実施します。

金刀比羅神社
〒651-0001 宮司 脇阪卓爾
京丹後市峰山町泉二六五二
電話 〇七二二八二〇二二五
FAX 〇七二二八二五九九三
mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com

七月二十九日
水無月祭

「茅の輪くぐり」二十八日より
「人形」受付・祓所参拜
午後六時より九時まで
「夜の市」開催
水無月会奉仕



のこんぴら市、手づくり市は、ちゅっくり。みんなで作る市です。

こんぴら手づくり市

7月17日は夕涼み開催 決定!
16:00~20:00

毎月第3日曜日開催中!

7/17 8/21 9/18 10/16
11/20 12/18 開催予定
朝10時~夕方3時頃まで
出展者募集中!
http://konte1.com
info@konte1.com

創建二百年 歴史に刻む足跡

前日までの時雨模様は一変、爽やかな好天に恵まれたまさに晴れの四月十日佳日、二百名もの参列者を得て御鎮座二百年式年大祭奉幣祭を斎行しました。平成十三年に準備委員会を発足して境内整備を中心とした営繕事業に着手、五年前からは奉賛会に移行して式年大祭執行に取り組んでいただき十年間にわたる準備を経て迎えた晴れの日となりました。

当初の計画では祭礼当日に「吹貫お披露目・奉祝稚児行列」



宮司祝詞奏上

「奉祝神賑行事」等を執行する計画でしたが、東日本大震災発生後間もなく、被災状況の甚大さを考慮して見送ることとなり、被災地復興祈願祭を併せて斎行しました。

斎女奉仕 浦安の舞奉納

祭儀では奉祝行列でお披露目の予定であった斎女（いつきめ・岩佐幸葵子さん）が、二十年前の百八十年祭の折、讃岐金刀比羅宮より戴いて以来ご本殿へお祀りされていた金幣を奉賛者各位へ頒かつ「班幣」に仕えたのははじめ、宮司旧知のご縁でご奉仕下さった平安神宮神職らによる祭典楽と「浦安の舞」舞楽・蘭陵王」を奉奏しました。



金幣頒布に仕える斎女

京極家御当主より御言葉賜る

特に祭儀終了後には、宮司、吉村孝道奉賛会長長の辞に続き旧峯山藩主京極家第十六代、ご当主京極高幸様に親しくご祝辞を頂戴し、

「金刀比羅神社が峰山の町と共に末永くご隆昌なされますこと



京極高幸様



舞楽「蘭陵王」

の悲願を果たされて讃岐金毘羅大権現よりご分霊をお迎えして創建され、以後今日まで代々の藩主と峰山の町衆の信仰で支えられてきました。殊に丹後ちりめんの商いに栄えた町の力がこの壮大な社殿と神域を護持してきたことから、当社は丹後峰山繁栄の象徴でもあり、二百年という記念の大祭に京極家御当主と町民代表が一堂に会する機会となったことには大変大きな意義があり、まさに歴史の節目に確かな足跡を残すことができました。



吉村孝道奉賛会長

を「ご祈念いたします。」との言葉を賜りました。当社は二百年前七代目の高備（たかまさ）公が先代まで

八十年を経て「吹貫」新調お披露目

昭和二年の大震災以前に峰山町内各町に十一基あった山車「吹貫」を再現して新調、二百年祭当日境内に展示しお披露目されました。



「お披露目行列」を行い、お稚児さんと斎女が加わり町内を巡行する予定でしたが、大震災の影響に鑑みて執行を見送り吹貫の展示のみ行いました。

丹後大震災で失われるまでの町内には山屋台十基、竹屋台

（簡易な芸屋台）九基、吹貫十基を有しており、他に類のないほどの大規模な祭礼が行われていましたが、吹貫は今日まで復興されていませんでした。

かつての祭礼の姿に少しでも近づけられればと二百年大祭記念事業の柱として再



泉町

震災以前の吹貫

現新調されました。十月の神輿渡御祭には吹貫を先頭に稚児行列、斎女も加わり、神輿奉輿巡行で盛大に執行する計画となっております。



集いフリーマーケットを開催、趣旨に賛同されたウインドオーケストラと謝の吹奏楽コンサートも催されました。あいにく午

五月二十二日（日）東日本大震災復興支援を目的に有志が

前中は雨模様となり、急ぎよ齋館で午後からの開催となりましたが、コンサート開始の頃には晴れ間ものぞき、無事開催されました。被災者の方々へ想いを届けるメッセージコーナーや義捐金の募集も行ない、フリーマーケットの収益とともに被災地へ送ることができました。



丹後親子で楽しむこども論語塾

先人が人生の知恵として学んできた「論語」に楽しく親しみ、失われた心のある日本人の心を親子で育んでもらおうと「丹後こども論語塾」が初めて当社で開催されました。六月五日（日）富山県高岡市より青木順子先生（とやま論語を楽しむ会代表）を迎えて初開催。小学生から大人までの参加者五十名は、先ずご本殿へ正式参拝し「正しいお参りの仕方」を学んだ後、会館での教室にのぞみ、全員で論語の素読をしたり漢字を使ったゲームに挑戦するなど楽しく学べる内容に大好評を得ていました。以後二ヶ月に一度、第一日曜日に開催される予定です。